

秋山遭難救助訓練に参加しました

令和2、3年度と新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催が見送られてきた秋山遭難救助訓練が令和4年9月27日、東通村において青森県山岳遭難防止対策協議会むつ支部主催のもと3年ぶりに開催されました。

本訓練は遭難救助活動の能力向上を図ることを目的として、警察、消防、自衛隊等の関係者88名が参加、当署からも4名が参加しました。

訓練では、捜索班3班に分かれて、山間部に入り、遭難者役を捜索し、発見後、安全な場所へ搬送するまでの実践的な救護搬送訓練を行いました。また消防署員の指導により止血の仕方、骨折時の固定方法や簡易担架の作り方等の救急法について学びました。

今後緊急時に円滑な対応が出来るよう、このような訓練に参加し、関係者と交流を深めていきたいと感じました。

これから山菜やきのこ狩り等で入山される方は、常に危険と隣合わせであることを意識して、十分注意のうえ、楽しんでいただきますようお願いいたします。



【開会】



【捜索中】



【遭難者の搬送中】



【救急法の指導】